

ミゾハコベ (狭義のイヌミゾハコベを除く)

Elatine triandra Schkuhr var. *pedicellata* Krylov
ミゾハコベ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

開発や農薬の多用等による生育環境の消失や悪化により減少している。

分布

本州～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

水田や湿地等に生えるやわらかい小型の一年草。茎は円く地に這って分枝し、長さ3～10 cm、節から白いひげ根を下ろす。葉は対生し、長さ5～12 mm、幅2～3 mm、葉柄はごく短いかまたはない。6～8月頃、葉腋に淡紅色の花が1個付く。花は径約1 mm、花柄は短い。

生育を脅かす要因

池沼開発、湿地開発、農薬汚染、植生遷移等による生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか (1982b)、福井県自然保護課編 (2004)、福井県植物研究会 (2001)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○	○		○		○		○	○	○		○		○

ヒゴスミレ

Viola chaerophylloides (Regel) W.Becker var. *sieboldiana* (Maxim.) Makino
スミレ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数ともに多くない。

分布

国内分布は、本州～九州。県内分布は大野市、福井市、小浜市、おおい町。

種の特徴

山地の森林の林縁や草原に生える。葉は3裂、2側片はさらに基部より2裂、各裂片はさらに細裂する。花期の葉は長さ3～6 cm、開花後は10 cmぐらいに伸びる。花は径1.5 cm程、エイザンスミレに比して少し小さい。

生育を脅かす要因

植生遷移や開発による生育環境の消失や悪化、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会 (1997)、畔上能力ほか (2013)、佐竹義輔ほか (1982b)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○											○	○

アカネスミレ

Viola phalacrocarpa Maxim.
スミレ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数ともあまり多くない。

分布

国内分布は、日本全土。県内分布は、大野市、福井市、あわら市、南越前町、越前町

種の特徴

日当たりのよい山地に生える。高さはほぼ10 cm、全体に短毛がある。葉は卵形～狭卵形、長さ2～4 cm、夏期には8 cmほどになる。花は濃紅紫色～紅紫色。花弁は1～1.3 cm、距の長さ6～8 mmでやや細い。茜堇の名があるが変異があるが花色は変異がある。

生育を脅かす要因

植生遷移や開発による生育環境の消失や悪化、園芸採取等。

参考文献 福井県植物研究会 (1997)、林弥栄・門田裕一 (2009)、佐竹義輔・若杉孝生 (1973)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○	○					○		○	○	○